

のおがた

議会だより

5月臨時会・6月臨時会・6月定例会

- ◆直方市議会正副議長選挙
- ◆直方市監査委員の選任について同意
- ◆令和5年度直方市一般会計補正予算を可決



主な内容

- | | |
|----------------|-----------|
| P.2 提出議案等とその結果 | P.5 意見書 |
| 賛否の分かれた議案 | P.6 一般質問 |
| 質疑 | P.12 三役紹介 |
| P.4 委員会の審査 | |

本会議情報

一般質問や質疑等の詳細については、録画配信または会議録を御覧ください。

録画配信は、議会が開催された日の約1週間後に公開します。また会議録は、次の定例会の約1週間前に公開します。

5 月臨時会に提出された議案等とその結果

条例		
議案第 36 号	専決処分事項の承認について（直方市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 37 号	専決処分事項の承認について（直方市介護保険条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 38 号	専決処分事項の承認について（直方市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 39 号	専決処分事項の承認について（直方市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認
予算		
議案第 40 号	専決処分事項の承認について（令和 4 年度直方市一般会計補正予算（第 9 号））	承認
議案第 41 号	専決処分事項の承認について（令和 5 年度直方市一般会計補正予算（第 1 号））	承認
人事		
選挙第 1 号	直方市議会議長選挙	選挙
選挙第 2 号	直方市議会副議長選挙	選挙
選挙第 3 号	直方・鞍手広域市町村圏事務組合議会議員選挙	選挙
	議会運営委員の選任	選任
	常任委員の選任	選任
報告		
報告第 6 号	専決処分事項の報告について（道路災害に係る損害賠償の額を定めること）	報告

賛否の分かれた議案

会 派 名	公 明 党	正 誠 会	市民クラブ	ふ た ば	日本共産党	プラタナス	令 和 会	れ い め い												
議 案 番 号	議員名	宮園祐美子	紫村博之	岡松誠二	篠原正之	野下昭宣	澄田和昭	中西省三	草野知一郎	那須和也	渡辺和幸	高宮 誠	村田明子	矢野富士雄	松田 昇	渡辺幸一	渡辺克也	森本裕次	安永浩之	田代文也
	第 39 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	一

○：賛成、×：反対、欠：欠席、棄：棄権

—：議長には賛成・反対の意思表示をする表決権がありませんが、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

※その他の結果については、全会一致で賛成となっています。

質 疑

5 月臨時会で質疑が行われた議案については次のとおりです。

議案番号	議案名	発言者	質疑項目
第 39 号	専決処分事項の承認について（直方市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	渡辺 和幸	限度額引き上げについて ほか
第 41 号	専決処分事項の承認について（令和 5 年度直方市一般会計補正予算（第 1 号））	那須 和也	【歳出】低所得の子育て世帯に対する世帯生活支援特別給付金について

6 月臨時会に提出された議案等とその結果

人事		
議案第 42 号	直方市監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意

6 月定例会に提出された議案等とその結果

条例		
議案第 43 号	直方市行政財産使用料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 44 号	直方市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 45 号	直方市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 46 号	直方市集会所及び生活館の設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 47 号	直方市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 48 号	直方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 49 号	直方市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
予算		
議案第 66 号	令和 5 年度直方市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 67 号	令和 5 年度直方市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 68 号	令和 5 年度直方市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 69 号	令和 5 年度直方市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
人事		
議案第 52 号 ～ 議案第 65 号	直方市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
選挙第 4 号	直方市・北九州市岡森用水組合議会議員選挙（組合規約第 5 条第 2 項第 1 号）	選挙
選挙第 5 号	直方市・北九州市岡森用水組合議会議員選挙（組合規約第 5 条第 2 項第 2 号）	選挙
選挙第 6 号	直方市・北九州市岡森用水組合議会議員選挙（組合規約第 5 条第 2 項第 3 号）	選挙
議案第 70 号	直方市副市長の選任につき同意を求めることについて	原案同意
その他		
議案第 50 号	財産の無償譲渡について	原案可決
議案第 51 号	学校給食費の支払督促の申立てに係る訴えの提起について	原案可決
意見書案第 4 号	薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める意見書について	原案可決
意見書案第 5 号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書について	原案可決
意見書案第 6 号	地方財政の充実・強化に関する意見書について	原案可決
意見書案第 7 号	インボイス制度の実施延期を求める意見書について	原案否決
意見書案第 8 号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書について	原案可決
報告		
報告第 7 号	専決処分事項の報告について（市営住宅家賃滞納に係る民事調停）	報 告
報告第 8 号	繰越明許費繰越計算書について（直方市一般会計）	報 告
報告第 9 号	予算繰越計算書について（直方市水道事業会計）	報 告
報告第 10 号	予算繰越計算書について（直方市下水道事業会計）	報 告

賛否の分かれた議案

会 派 名	公 明 党		正 誠 会		市民クラブ		ふ た ば		日本共産党		プラタナス		令和会		れ い め い				
議員名 議案番号	宮園祐美子	紫村博之	岡松誠二	篠原正之	野下昭宣	澄田和昭	中西省三	草野知一郎	那須和也	渡辺和幸	高宮 誠	村田明子	矢野富士雄	松田 昇	渡辺幸一	渡辺克也	森本裕次	安永浩之	田代文也
第 44 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 66 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意見書案 第6号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意見書案 第7号	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	—

○：賛成、×：反対、欠：欠席、棄：棄権
—：議長には賛成・反対の意思表示をする表決権がありませんが、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。
※その他の結果については、全会一致で賛成となっています。

質 疑

6月定例会で質疑が行われた議案については次のとおりです。

議案番号	議案名	発言者	質疑項目
第 44 号	直方市税条例の一部を改正する条例について	宮園 祐美子	森林環境税の目的 ほか
第 50 号	財産の無償譲渡について	渡辺 和幸	譲渡の申入れについて ほか
第 51 号	学校給食費の支払督促の申立てに係る訴えの提起について	渡辺 和幸	提案提出までの経緯について ほか
第 66 号	令和 5 年度直方市一般会計補正予算(第 2 号)	那須 和也	【歳出】庁舎空調設備改修工事費 ほか
		渡辺 和幸	【歳出】価格高騰重点支援給付金 ほか
		宮園 祐美子	【歳出】直方市病児保育事業補助金
		村田 明子	【歳出】統合型校務支援システム導入委託料
第 67 号	令和 5 年度直方市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	宮園 祐美子	【歳出】レセプト分析による対策支援業務
		渡辺 和幸	【歳出】レセプト分析による対策支援業務

各 常 任 委 員 会

7月4日に開催され付託された議案について審査した主な内容です。

総務常任委員会

令和 5 年度一般会計補正予算(第 2 号)のうち所管分について

個人番号カード等関連事務費補助金について、マイナポイント申請延長に伴う予算だが、現在も事業が継続し、現時点で財源の裏付けがない状態だが、財源はどうなるのか尋ねました。
所管課からは、当初予算後に延長が決まったが、歳入については担当課より補助金が10分の10入ることを確認しているとの回答がありました。
さらに今回の分について全額補助されないのではという情報もあるが、財政当局としてはどのように把握しているのか尋ねました。
所管課からは、国からの内示では、当初予算措置し

教育民生常任委員会

令和5年度直方市一般会計
補正予算（第2号）のうち
所管分について

ていた額の半分程度しか補助がおりていないことは把握している。しかし、当初の内示額の根拠に不確かなところがあり、各自治体から国に対し要望を上げている状況である。また、国からも方針が示されておらず、今事業に対する追加の内示も出ていないため、通常どおり全額補助されると認識しているとの回答がありました。

委員会としては、国費が満額措置されない状況や、差額を一般財源から補填するということは市民も含め到底納得できない。全額補助となるようあらゆる手立てを取り、歳入確保に全力を挙げるよう要望しました。

採決に当たっては、マイナンバーカード、とりわけマイナ保険証について制度不信によるカード返納の実態もあり、当該補助金について問題ありとの立場だが、今回の地方創生臨時交付金による小・中学校の給食費無償化や事業者支援等があるため、問題点はありつつも賛成との討論が行われ、採決の結果、可決すべきものと決定しました。

マイナンバーカードの返

還が問題になっている中、ポイントの申請支援業務をずっと行っていくのか尋ねました。

所管課からは、国の制度として、2月末までにマイナンバーカードを申請した方は9月30日までマイナポイントの申し込みができるため、9月30日まで実施していくとの回答がありました。

次に、統合型校務支援システム導入委託料及び備品購入費について、統合型校務支援システムを導入することで具体的にどういった業務改善につながるのか尋ねました。

所管課からは一例として、通知表や指導要録を作成する際、これまでバラバラに管理していたデータを一元

化管理できるようになり、教員の作業時間の削減になるほか、すでに本システムを導入済みの中学校においては、新たに保健管理機能が追加されるとの回答がありました。

また、電子黒板の購入に
関し、現場の先生によると、電子黒板は時間帯や席によって見えにくいことがあるとのことだが、そういった意見は協議の中で上がってきているか尋ねました。

所管課からは、設置に向けた協議は進めているが、具体的な意見聴取は行っていないとの回答がありました。

これらの回答を受け、統合型校務支援システムについても、電子黒板の設置についても、宝の持ち腐れにならないよう、教育現場の意見を取り入れ、状況をしっかりと把握した上で導入するよう要望しました。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

令和5年度直方市一般会計
補正予算（第2号）のうち
所管分について

住宅建設費について、中泉中央市営住宅3棟建設後の市営住宅建設の方向性についてどう考えているのか尋ねました。

所管課からは、今回の中泉中央市営住宅3棟が完成すると、中泉地区の現行の耐震基準を満たしていない住宅にお住まいの方の住み替えが完了する予定である。4棟目の建設については、他の地区の市営住宅も老朽化が進んでいることから、市全体を対象とした市営住宅建て替えの検討を行っていきたいとの回答がありました。

委員からは、3棟の建設で中泉地区の住み替えのめどが立つのであれば、他の地区の市営住宅の建て替えを進めるべきではないかといった意見があり、中泉中

央市営住宅の今後の建設計画については、他地区の市営住宅の老朽化の状況を踏まえ、市全体の市営住宅建て替えに向けた検討を行うよう要望しました。

採決の結果、可決すべきものと決定しました。

意見書

今定例会では、次の意見書が提出され、採決の結果可決しました。可決した意見書を、関係行政庁等に送付しました。

◎薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める意見書

送付先は、厚生労働大臣です。

◎特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

送付先は、文部科学大臣財務大臣です。

◎地方財政の充実・強化に関する意見書

送付先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣です。

◎少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

送付先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣です。

一般質問

6月定例会の一般質問は、6月26日から29日までの4日間行われ、15名の議員が市政について質問しました。一般質問は、議案と関係なく市政全般にわたり執行機関に対して執行状況や将来に対する方針などについて所信を尋ねたり、報告、説明を求めるものです。



▲YouTubeはコチラ

野下昭宣 議員



質問 市長の政治姿勢と所信表明全般について

1期目の反省の上に立つてと前置きし所信表明されたが、僅差の勝利であった理由は市民に夢や誇りを持つて都市像を示せなかったことと思う。突然、植木に新幹線新駅建設が提案されているが、建設費は200億円かかる。それだけの金があるなら、例えば道の駅や博物館など身近な物が先ではないか。

また市民と協働、「市民の声が基本」とあるが、実情は金がない等の理由で、窓口で門前払いされることが多いが、市民の声が市長に届く管理システムはあるのか。一方、市民・人権同和対策課の窓口業務が一元化

されたが時間がかかり過ぎる。窓口業務は民間委託になっていると思うが、改善策はあるのか問う。

答弁 本市は北九州市と福岡市の中間に位置するため、今後の本市の発展を考えた場合、広域的な視点で将来像を描くことが大切であり、

将来の投資を考えることも市長の仕事になる。新産業団地の計画がある植木地区は、新幹線新駅の可能性を含め、新たな産業立地と新たなまちづくりが求められていると考えている。

また市民から相談を受ける所管は、市民サービスの向上という視点を常に持ち、相談内容を考慮した上で、市長に必要な情報が集まるような仕組みを検討したい。また、デジタルトランスフォーメーションの活用により、内部事務の効率化と併せて窓口サービスの向上に取り組む。

森本裕次 議員



質問 直方・鞍手新産業団地の進捗状況と新たな工業団地の検討について

直方・鞍手新産業団地は計画から30年を経てようやくスタートし、データセンタの立地が期待され、本市が持続可能都市として進む一歩である。進捗状況の確認と、トヨタ自動車やTSMCが九州自動車道で結ばれていることから更なる魅力、幹線新駅建設と新たな産業団地検討といった次の一手を問う。

答弁 県及び市町の役割分担に沿った事業を進めており、県と連携した周辺地域の経済振興が大事となる。産業振興ビジョン・アクションプランでは、新たな産業集積地の検討を進めることとしている。一方、既存の産

業団地区画は完売状態であり、遊休公有地との一体的な開発を含め検討を行う。

質問 空家対策の進捗状況と固定資産税について

今国会で成立した「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」は「特定危険家屋」に一步踏み込んだ「管理不全空き家」まで対象を広げ、自治体が改善指導、勧告、税軽減特例の対象外とする仕組みになっている。そのことを踏まえ、税制も含めた本市のこれからの空き家対策を問う。

答弁 中古住宅の流通促進を目的とした補助金等の支援制度を周知し、引き続き、市民、住宅所有者に対する空き家問題の啓発を図っていく。

また、本市での空き家新税導入については、実施効果、他市の取組等の情報収集に努め、新税導入に限らず、税のあり方について調査・研究していきたい。